



東地中海地域ニュース

ヨルダン：「平和と繁栄の回廊」構想

(5月13 - 14日付現地各紙)

1. 5月13日付報道

- (1) 日本、ヨルダン、パレスチナ及びイスラエルの4者は、パレスチナ地域の経済発展を図るため、物の移動を容易にし、西岸に工業地帯を作ることを目的とする「平和と繁栄の回廊」構想を実施している。
- (2) 5月10日、日本がその実施を監督している本構想をフォローするため、ヨルダンとイスラエルは死海で技術レベルの会合を行った。
- (3) 本構想には、パレスチナにおける農業団地の建設、死海における集積センターの建設及びヨルダン・南シューナにおける飛行場の建設が含まれている。
- (4) 又、ヨルダンとイスラエルは、パレスチナを含めた3者会合を早期に開催することに合意した。

2. 5月14日付報道

- (1) 5月13日、日本のイニシアティブによる「平和と繁栄の回廊」構想のフォローのため、ヨルダンとパレスチナのチームがアンマンで会合を行った。
- (2) 本構想は、地域の繁栄のため地域間協力を推進するプロジェクトを実現化しよう関係者が協力して構築するもので、西岸における農業・工業団地の建設、死海における農産品の集積センターの建設、ヨルダン・南シューナにおける飛行場の建設が具体例として挙げられている。
- (3) ヨルダン側はナーセル・シュライディ計画・国際協力省次官が、パレスチナ側はムハンマド・ムスタファ大統領経済顧問が代表し、両者は早期に全関係者による本構想実現に向けたメカニズムについて議論する会合を開催することを合意した。